

促成アスパラガス高収量確保のための根株養成法

【1 成果概要】

促成アスパラガスの若茎収量と根株重には高い相関があることから、大株を生産するため、次の技術を取り入れて根株養成をします。

- (1) アスパラガスの植栽予定ほ場は、深耕ロータリー（約 40cm 深）で耕起し、根が伸長しやすいほ場とします。
- (2) 作畦の形状は、耕起した作土を多く集めた大畦とし、根が伸長できる容積を確保します。
- (3) 大苗が収量向上につながるので、育苗の際、ポリポットに鉢上げして管理します。
- (4) 茎葉の倒伏は斑点病に感染しやすく収量低下の原因となるので、フラワーネットやマイカ線を設置し、倒伏防止対策を行います。

【2 効果】

- (1) 養分が蓄えられた大きい根株が生産されることにより、高収量の促成アスパラガス生産が期待できます。

【3 留意事項】

- (1) 斑点病の感染による茎葉の消耗で、収量低下が著しいことがあるので、特に 8 月後半から秋雨時期には、防除を徹底します。



図 1 深耕ロータリーで耕起

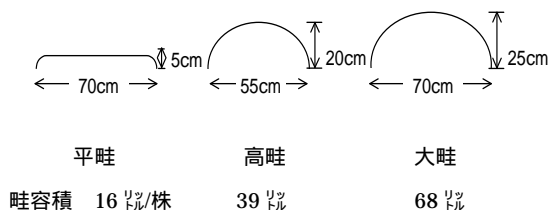


図 2 作畦の形状

大畦：タバコ畦立てマルチアタッチメントを最大に拡張して作畦、135cm 巾ビニールを使用



図 3 7.5cm ポリポットに鉢上げ

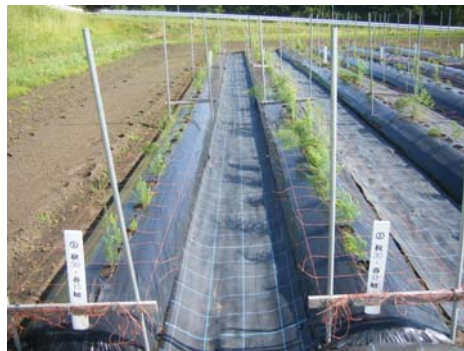


図 4 フラワーネットで茎葉の倒伏防止